

## 主な実施内容(2020年8月～2021年1月)

日時	主な実施内容	実施機関など
8月14日	研究資金獲得セミナー 第1部「採択される研究計画調書の具体的検討会」(8月14日・15日)オンライン開催 第2部「審査委員に重要性が伝わる提案書の書き方」講演会(8月27日)オンライン開催	代表機関・共同実施機関
9月2日	第5回病児・病後児保育WG会議オンライン開催	奈良女子大学
9月4日	管理者対象研修 *11月24日にも実施	佐藤薬品工業
9月14日	第8回実務者会議 オンライン開催	代表機関・共同実施機関
9月18日	奈良工業高等専門学校 ならっこネット共同利用開始	奈良工業高等専門学校
9月19日	第3回異分野研究交流カフェ オンライン開催	代表機関・共同実施機関
9月24日	国立女性教育会館主催「大学等における男女共同参画推進セミナー」において女子学生教育の取組を発表	奈良工業高等専門学校
9月29日	「令和2年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」授賞式実施	武庫川女子大学
10月1日	「令和2年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」授賞式実施	奈良女子大学
10月5日	管理職向けFD研修会「管理職に望むこと～ダイバーシティ環境を推進するために～」オンライン開催	代表機関・共同実施機関
10月5日	女性人財育成研修 *11月4日、20日、12月8日、16日にも実施 (全10回予定)	帝人フロンティア
10月7日	第6回病児・病後児保育WG会議オンライン開催	奈良女子大学
10月9日	「令和2年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」授賞式実施	奈良工業高等専門学校
10月9日	2020年度きららかセミナー「リーダーシップと意思決定を学ぶ」講座開始 *以降5講座9日間10/16, 11/13, 20, 27, 12/4, 11, 18, 25実施	奈良工業高等専門学校
10月30日	第1回「訪問型」病児・病後児保育支援のためのセンター講習会開催 (第2回11月21日実施)	奈良女子大学
11月12日	第9回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
11月21日	スキルアップ支援講座「COMMUNICATION SEMINAR in ENGLISH」開催	代表機関・共同実施機関
11月25日	第7回病児・病後児保育WG会議オンライン開催	奈良女子大学
12月7日	“知る・学ぶ・伝えるequality”連続講座第1回 「犯罪を招く”男らしさの呪い”～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」会場とオンライン同時開催	代表機関・共同実施機関
12月15日	大阪大学(吹田キャンパス)において、女性研究者に向けた「女性リーダーとの対話」の講師	プロアシスト
12月16日	「訪問型」病児・病後児保育支援利用者説明会オンライン開催 *12月17日・2021年1月22日にも開催	奈良女子大学・奈良工業高等専門学校
12月23日	第8回病児・病後児保育WG会議オンライン開催	奈良女子大学
12月23日	第10回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
2021年 1月6日	第11回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
1月18日	“知る・学ぶ・伝えるequality”連続講座第2回 「自己肯定感 ～かけがえのない自分と出逢うために～」オンライン開催	代表機関・共同実施機関
1月20日	第12回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関

### シンポジウム 附属病院をもたない機関における 病児・病後児保育の実現に向けて

基調講演 一般財団法人女性労働協会 小林恭子氏

日時:2021年2月18日(木)13:30-16:30  
主催:奈良女子大学

- 「令和2年度 働き方公開セミナー」  
なぜ、日本で男女共同参画が必要なのか  
～アンコンシャスバイアス(無自覚な偏見)を超えて～  
日時:2021年2月20日(土)13:30-15:00  
主催:武庫川女子大学
- 「ダイバーシティ講演会」  
日時:2021年3月10日(水)13:30-15:00  
主催:奈良工業高等専門学校

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター

Mail : diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp <https://diversity-center.nara-wu.ac.jp>



| 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」|

奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引～全国に広がれ！ダイバーシティの取組～



# Newsletter

2021年2月  
No.3

奈良女子大学 / 奈良工業高等専門学校 / 武庫川女子大学 / 株式会社プロアシスト / 帝人フロンティア株式会社 / 佐藤薬品工業株式会社

Pick up!



日時:2020年10月5日(月)13:30-15:30 オンライン開催(オンデマンド配信)しました

職場のダイバーシティ化を進める上で、特に重要とされるのが管理職の意識改革と言われています。今回は、著書『ビッグツリー 私は仕事も家族も決してあきらめない』が反響を呼び、さまざまなメディアに取り上げられ、2011年ビジネス書最優秀著者賞を受賞された佐々木常夫氏を講師にお招きしました。本学を含めた共同実施機関の管理職および将来管理職

になるであろう構成員に、ダイバーシティの重要性、管理職に求められるマネジメント、ダイバーシティを進めるにはどうすればよいか等について講演していただきました。46名が参加し、オンデマンドでも21名が視聴しました。昨年度3月25日に開催を予定していましたが新型コロナウイルスの影響により延期となり、オンラインにて開催いたしました。

管理職向けFD研修会 佐々木常夫氏講演会

「管理職に望むこと～ダイバーシティ環境を推進するために～」

日時:2020年10月5日(月)13:30-15:30 オンライン開催(オンデマンド配信)しました

職場のダイバーシティ化を進める上で、特に重要とされるのが管理職の意識改革と言われています。今回は、著書『ビッグツリー 私は仕事も家族も決してあきらめない』が反響を呼び、さまざまなメディアに取り上げられ、2011年ビジネス書最優秀著者賞を受賞された佐々木常夫氏を講師にお招きしました。本学を含めた共同実施機関の管理職および将来管理職

になるであろう構成員に、ダイバーシティの重要性、管理職に求められるマネジメント、ダイバーシティを進めるにはどうすればよいか等について講演していただきました。46名が参加し、オンデマンドでも21名が視聴しました。昨年度3月25日に開催を予定していましたが新型コロナウイルスの影響により延期となり、オンラインにて開催いたしました。

研究資金獲得セミナー 塩満典子氏をお招きして

～審査委員に重要性が伝わる提案書の書き方～

講師には、「研究資金獲得法の最前線：科研費採択とイノベーション資金活用のフロント」等を執筆された  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)航空技術部門事業推進部次長の塩満典子先生をお招きし、二部構成で開催いたしました。

第1部

採択される研究計画調書の具体的検討会

日時:2020年8月14日(金)・8月15日(土)

個別オンライン開催 8名参加

参考者は、塩満先生に、過去に不採択となった申請書を見ていただき、個別にご指導を受けました。終了後、「先生から具体的なアドバイスをいただき、非常に参考になった」などの声が寄せられ、好評でした。

第2部

講演会

日時:2020年8月27日(木)13:00-15:10

オンライン 34名・オンデマンド配信 64名参加



「病児・病後児保育」の実現に向けて  
- 進捗状況の報告 -

本事業において、附属病院を持たない機関における「訪問型」病児・病後児保育システムの構築に取り組んでいます。昨秋からの活動を報告いたします。2020年9月に、奈良市小児科医連絡協議会にて、事業の概要説明を行い、事業の推進と、託児支援開始時に必要となる事前受診の際の「診療情報提供書」の発行を行いました。また、支援中の緊急時対応として、全国ボランティアナースの会キャンナス生駒の看護師とも連携し、リスクマネジメントの大きな役割を担っていただきました。さらに、複数の「訪問型」病児・病後児保育事業のNPO法人や医学部・附属病院をもつ病児保育室の担当者とオンラインで面会し、保育事業の情報を収集しました。支援体制においては、サポート一対象の「病児・病後児保育支援のための講習」を10月30日・11月21日(10h)に実施し、延べ44名の参加があり、利用者対象の説明会を12月16日、17日、1月22日に実施しました。今後は、利用者のお子様のかかりつけ医を訪問してご協力の依頼を行うこと、『手引き書』や『安全の手引き』等の作成など、課題は多く残されています。2月18日にシンポジウムを開催し、本事業の取組を全国に発信します。4月からの「訪問型」病後児保育支援開始を目指してスタッフ一同邁進いたします。

病児・病後児保育に関する  
アンケート調査(2019)  
結果報告書完成

本事業において、連携機関(大学・高専)である奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学の教職員・学生(留学生を含む)を対象に、病児・病後児保育についてアンケート調査を行いました。奈良女子大学174名、奈良高専64名、武庫川女子大学379名より回答が得られました。その結果、仕事と家庭生活の両立に関して悩むことの第一位に子どもの病気が挙げられました。



お問い合わせ

## 共同研究スタートアップ支援

共同研究スタートアップ支援制度は、連携3機関の女性研究者が立ち上げた共同研究プロジェクトを支援することにより、女性研究者の研究の進展と、更なる研究力の向上を目指すことを目的としています。採択された方の研究をご紹介します。

### 調整力と運動機能の連関に関する評価指標の作成

**大高 千明** (奈良女子大学・研究院・生活環境科学系・助教)  
共同研究機関: 武庫川女子大学

生涯自立的な生活を続けるためには、筋力や持久力などの体力を維持するだけではなく、目的に応じて動きをコントロールする能力である「調整力」を意識することも重要となります。「調整力」に関するオリジナル評価指標を作成するとともに、調整力と運動機能(ロコモ度テスト、体力テスト)との関連性について検討することを目的とします。新体力テストやロコモ度テストなど、既存の判定基準との関連性から、調整力の定量的な評価を試みます。

### ナノファイバー素材を応用した高密着性靴下の開発とヒトの運動機能への効果に関する定量的評価研究

**安在 純美** (奈良女子大学・生活環境学部・特任講師)  
共同研究機関: 帝人フロンティア株式会社

ナノファイバーを混合した靴下は摩擦性が高く、方向転換動作等のパフォーマンス向上や転倒予防等への効果が期待されています。本研究では運動学的・力学的観点に着目しています。例えば剪断応力を量化する計測システムを開発することで、従来では評価が難しかった足底剪断応力を量化しました。また、深層学習を用いて動画像から身体骨格推定を行い、重心移動や関節運動への影響を検討しています。ナノファイバーの配合率や適用する足の部位を検討することでより最適な靴下の開発につなげます。

### 「声」でストレスを見る化する ーライフコースにおける動機づけフィードバックシステムへの試みー

**松村 寿枝** (奈良工業高等専門学校・情報工学科・教授)  
共同研究機関: 奈良女子大学・武庫川女子大学・ブル学院短期大学

様々な年代における運動行動変容のための動機づけに作用するストレスや体調の変化を「声」の分析によって評価し、客観的に見える化できる外的評価ツールの開発に向けた共同研究を行います。具体的には、実践場面での経験的な「声」の表情を、行動変化や行動変容に関わるストレス事象を切り取り、ストレスの違いによる体調やこころの変化を「声」の測定および心理指標の測定と行動指標のモニターによって抽出。それらを工学的手法と融合することによって、「声」とストレスとの関係に関する基礎的知見の確立を試みます。

### 食品ロスに対する意識及び行動の実態調査ー新型コロナウイルスの流行が与えた影響ー

**諸井 美樹** (武庫川女子大学・食物栄養科学部・食創造科学科・助手)  
共同研究機関: 奈良女子大学・西宮市役所

幅広い年齢層を対象に調査を実施し、年代による食品ロスの意識の違いや調理の有無による違いを把握し、意識と行動の実態調査を通じて、それぞれの属性に応じた対象者が、実際にどのような食品ロス軽減のための行動をとりうるのかを明らかにしていきます。西宮市環境局美化企画課とも共同研究体制を構築し、新型コロナウイルス流行後の生活習慣や食習慣の変容に伴う食品ロス軽減とその効果的な取り組みに必要な情報を得て、食品ロスに対する意識及び行動の実態調査の研究を行います。

## 令和2年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞 ～優秀な女性研究者への支援～

特に優秀な研究業績を挙げ、今後の研究の発展が期待される女性研究者に、研究費を支援する「ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」の令和2年度の採択者をご紹介します。授賞式は、2020年9月29日(武庫川女子大学)、10月1日(奈良女子大学)、10月9日(奈良工業高等専門学校)に行いました。

**宇田 亮子** 奈良工業高等専門学校・物質化学工学科・教授



トリフェニルメタン骨格を持つ化合物を設計し、薬物送達や診断用薬として機能し得るシステムの構築に取り組んでいます。開発した化合物によって従来のシステムに新たな機能を付与させることができます。両親媒性分子が形成するミセルやリポソームなどの分子集合体や高分子材料に環境応答性を持たせることができます。微小領域での選択的な反応誘起や細胞標的化につながるため、副作用の少ないがん治療や特定がん遺伝子検出への展開を目指しています。

**吉田 容子** 奈良女子大学・研究院・人文科学系・教授



人文地理学の一分野である社会地理学を専門としています。社会地理学は、社会と空間の関係に注目し、実証研究を通じて理論構築をめざします。行為主体間の相互作用として捉えられる社会関係は、空間に投影されて立ち現われます。空間にはらまれた社会関係を暴き出すことで長年取り組んできました。その一環として、ここ十数年は、敗戦後日本の各米軍駐留地周辺にみられた歓楽街(たいてい売春街を含む)を研究対象に、歓楽街という空間をめぐってどのような行為主体がどのような社会・権力関係をつくり出していたのかを、とくにジェンダーやセクシュアリティの視点から明らかにしようと取り組んできました。

**小林 知未** 武庫川女子大学・食物栄養科学部・食物栄養学科・講師



学童期の子どもたちが望ましい生活習慣を身に付けることができるよう「はやおき、朝ごはん、歯磨き、元気にしています!」をスロー ガンとした「子どもの生活習慣応援事業(子ども食堂)」に平成28年度から学生ボランティアと朝食支援や歯磨き指導、本の読み聞かせ等のサポートを行っています。この事業において、子ども達の朝食摂取状況を把握したり、子ども食堂で活用可能な食育教材の開発及び評価検討を行うと共に、学生ボランティアの参加動機やボランティアを通して感じる満足感や負担感、学び等を整理し、持続性のある活動していくために必要な学生支援についても検討しています。

**竹本 由美子** 武庫川女子大学・生活環境学部・生活環境学科・講師



電力がなくても自ら発光する蓄光素材は、夜間の事故防止や災害など停電時の活用が望まれています。特に停電時には、救助者と被災者が互いに暗闇で素早く認識できれば、災害救助や避難の際に迅速な対応が可能になります。停電など視界不良時に光源がない状況では、反射素材や螢光素材では不十分です。すでに避難誘導灯にも蓄光素材が利用されていますが、まだ蓄光製品として活用されていない蓄光糸を蓄光布に織り、日常的な織物製品に取り入れた場合の様々な視界不良における視認性と持続性を検証していき、命を守る蓄光素材の利用拡大に繋げることを目標に研究をしています。

## ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及

### “知る・学ぶ・伝えるequality”連続講座

奈良女子大学 会場&オンライン開催

#### 第1回 「犯罪を招く”男らしさの呪い” ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」

●2020年12月7日(月)

参加者 144名(オンデマンド配信を含む)



奈良少年刑務所で行なわれてきた先進的更生教育「社会性涵養プログラム」に関わってこられた、作家・詩人の奈美千子氏を講師にお招きました。10年にわたる実践で見えてきた社会背景と、受講生=受刑者たちの心の動き、「獄中の教室」の風景を、彼らの詩とともに紹介していただきました。

奈良女子大学 オンライン開催

#### 第2回 「自己肯定感 ～かけがえのない自分と出逢うために～」

●2021年1月18日(月)

参加者 120名(オンデマンド配信を含む)



学生の復学支援のためのレジエンスサポートルーム運営及びメンタルヘルスケア等を通じた教育研究現場の改善などの業績を認められ大阪大学賞を受賞された大阪大学大学院工学研究科講師根岸和政氏をお招きました。自らの価値や存在意義を肯定できる感情を持つことで自分らしく生きやすくなります。そのためには何を心がけたら良いかをわかりやすくお話ししていただきました。

### 他機関との連携・協力の強化

地域との連携推進に向けて、近畿圏の複数の女子大学を訪問し、事業の紹介や意見交換を行いました。そして、京都女子大学が本事業の協力機関として参画いただくことになりました。また、事業内の連携を強化すべく、共同実施機関や協力機関の企業、団体等を訪問し、意見交換を行いました。

## 研究者の研究力向上支援

武庫川女子大学

### スキルアップ支援講座

## 「COMMUNICATION SEMINAR in ENGLISH」



●2020年11月21日(土) 参加者 20名

日本とアジアをベースにリーダーシップ開発、チーム・ビルディング、異文化マネジメント、効果的なプレゼンテーションの領域で、ファシリテーター＆コーチとしてクラインアントをサポートしているMaryAnne Jorgensen 講師をお招きました。日本と他国の文化を理解し、効果的に異文化に対応するためのコツを掴み、国際学会等でのコミュニケーションスキルを高めるためのセミナーを開催しました。

武庫川女子大学

### 座談会

## 「世界で活躍する武庫川女子卒業生ー新たな挑戦ー」

●2020年10月31日(土) 参加者 37名

異なる分野で活躍し、社会から高い評価を得ている卒業生4名にお越しいただきました。彼女たちに、どのようにして困難を乗り越え、夢の実現に挑戦してきたかをお聞きしました。先輩女性たちの新たな挑戦や思いを現在の教職員や学生と共有することができました。

武庫川女子大学

### 異分野研究交流カフェ

●第3回 2020年9月19日(土) 参加者23名

奈良工業高等専門学校の宇田亮子教授が研究内容を紹介し、その中でコロидや機能性有機材料、高分子材料の生命科学分野への展開を考えており、特に薬物送達システムへの応用共同研究を探しているとお話されました。また、連携機関である株式会社プロアシスト 代表取締役社長 生駒京子氏にはなぜ企業が産学連携を進めるのか、また、産学連携はどういったことが行われているか、企業と学校側の双方にどのようなメリットがあるのか等これまでの大学との産学連携の事例とともにお話いただき、その後の交流会にも参加していただきました。交流会では、研究者間のネットワークの構築や共同研究の萌芽が認められました。

## 明確な役割分担で多様な持ち味を活かす

### 3企業の役割

- 病児・病後児保育のハード&ソフト面の開発
- 学位取得促進プログラム
- 共同研究の推進
- 女性管理職養成プログラム
- インターネット・マッチング

関西圏女子大学発・産学連携  
ダイバーシティ推進ネットワーク

(代表機関)  
**奈良女子大学**

**奈良女子大の役割**

●すべての取組の総括

(共同実施機関)  
プロアシスト社  
帝人フロンティア社  
佐藤薬品工業社

(共同実施機関)  
奈良工業高等  
専門学校  
武庫川女子大学

奈良高専・  
武庫川女子大の役割

- 「訪問型」病児・病後児保育の試験的運用
- 女性研究者の上位職への積極的登用
- 共同研究の推進
- シンポジウム・勉強会
- 女性管理職養成プログラム
- 女性研究者の裾野拡大

(協力機関)  
神戸松蔭女子学院大学  
奈良県立医科大学  
奈良先端科学技術大学院大学  
京都女子大学  
奈良県下の中小企業等

## リーダー育成・上位職への積極登用

佐藤薬品工業株式会社

### 管理職対象 マネジメント研修

●2020年9月4日・11月24日 参加者 各日50名(女性4名)

外部講師を招き、管理職対象の研修を行いました。一般的なマネジメント手法、社内規定類の理解度向上、人事考課などの人事制度について学びました。

株式会社プロアシスト

### チャレンジ制度

●2020年7月-9月 参加者 19名(女性6名)

積極的登用に向けて特別チャレンジも開始し、延べ19名の社員が挑戦しています。

帝人フロンティア株式会社

### データサイエンス人材育成プログラム

●2020年7月-9月 参加者 2名(女性1名)

女性管理職を育成するための研修を行いました。自分の強みを活かしたリーダーシップのスタイルを見出し、そのため必要なビジネススキルを身につけられるようなプログラムを実施しました。

奈良工業高等専門学校

## 研究力向上及びリーダー養成のためのセミナー 2020年度 きららかセミナー

- コーチング/  
10月9日(金)、11月13日(金)、12月11日(金)
- リーダーシップ論1/10月16日(金)
- アントレプレナーシップ/  
11月20日(金)、11月27日(金)
- リーダーシップ論2/12月4日(金)
- モチベーション/12月18日(金)
- 消費者行動/12月25日(金)

参加者 63名(女性24名)

リーダーに求められる資質と意思決定の思考プロセスを学ぶ「リーダーシップと意思決定」に関する講座を開講しました。学内教員だけでなく企業女性技術者の参加もありました。